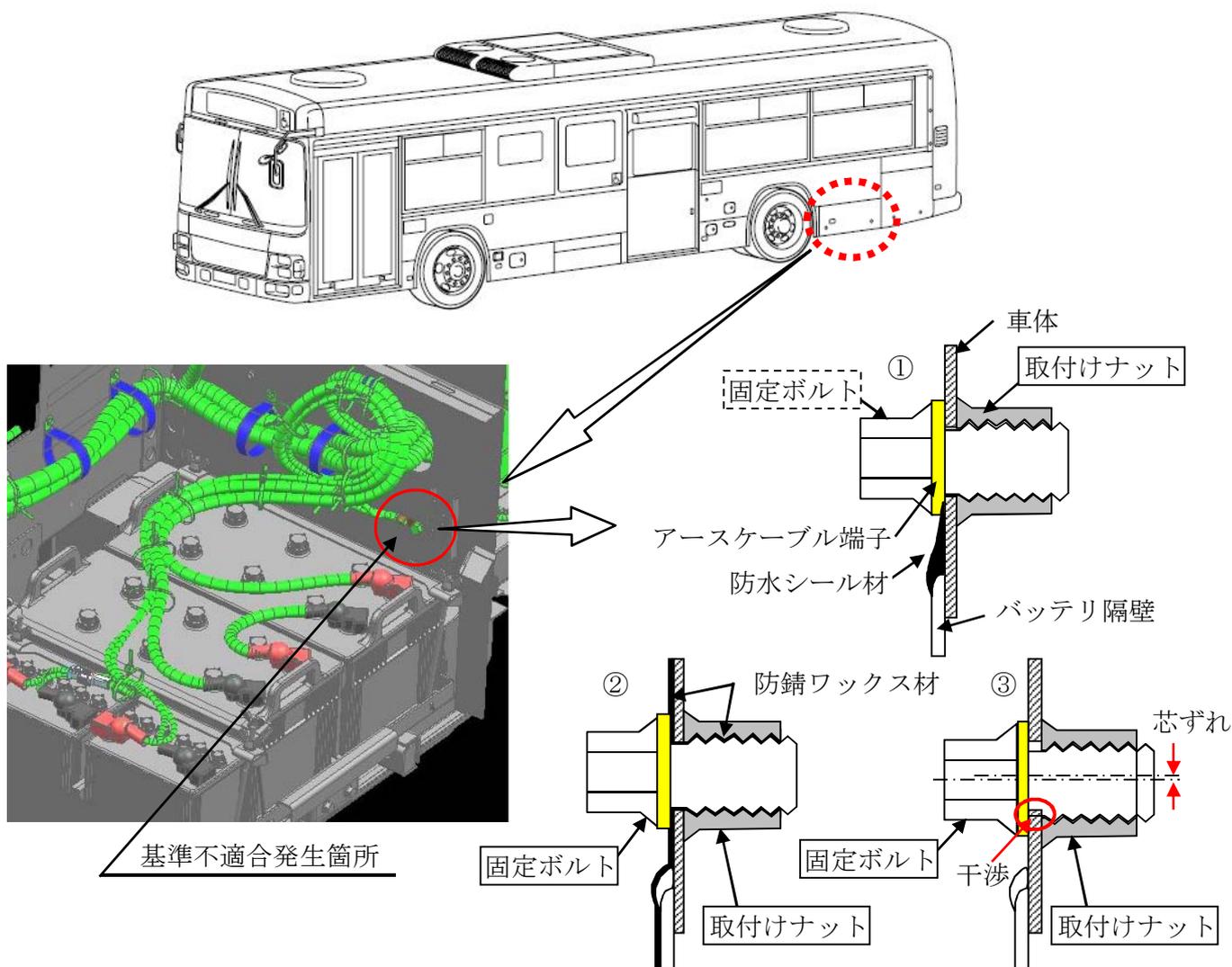


改善箇所説明図



路線バスのバッテリーのアース回路において、下記の製造時の原因によりアースケーブル端子と車体の固定が不確実なため、アースケーブル端子固定ボルトが緩み、接触不良となるものがある。そのため、バッテリー電源が断たれ、最悪の場合、エンジンが停止したり、扉が開いていた際は、扉が閉じるおそれがある。

- ①防水シール材がアースケーブル端子と車体の間に噛み込んでいる。
- ②防錆ワックス材がアースケーブル端子と車体の間に噛み込んでいる。
- ③アースケーブル端子固定ボルト取付けナットと車体穴の芯がずれ、ボルトのねじ山と車体が干渉する。

改善の内容：

- 全車両、アースケーブル端子固定ボルト取付けナットをねじ切り処理し、
- ①防水シール材を除去すると共に、アースケーブル端子固定ボルトを点検し、損傷している場合は当該ボルトを新品に交換する。
 - ②防錆ワックス材を除去すると共に、アースケーブル端子固定ボルトを新品に交換する。
 - ③アースケーブル端子固定ボルトを新品に交換する。

識別：バッテリーの台車ボルトに識別ペイント（黄色）を塗布する。

- 注 内は改修または交換する部品を示す。
 内は必要に応じて交換する部品を示す。